

ワークスペース復旧ツール

Flex Work Place



© Yokogawa Rental & Lease Corporation 2015-2021 All Right Reserved

© 横河レンタ・リース株式会社 2015-2021 All Right Reserved

本資料の内容については、作成日時点のものであり、事前の予告なく変更される場合があります。

横河レンタ・リース株式会社は、本資料の一部あるいは全部について、一般的な公開情報を除き、著作権をはじめとするあらゆる権利を留保いたします。

本資料の第三者に対する開示・公表・頒布は、当社による事前承諾を受けた場合を除き、転載を禁止します。

Flex Work Place、データレス PC、Passage、Passage Drive、AppSelf、Unifier 及び Unifier Cast は、横河レンタ・リース株式会社の商標および登録商標です。

Windows Server / Windows / .NET Framework / OneDrive は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他のブランド名、製品名、会社名は、商標もしくは登録商標を所有する各社に帰属します。

横河レンタ・リース株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-23-7 新宿ファーストウエスト 4F

TEL : 03-5908-1815(代表)

改訂履歴

版	作成日	備考
1.0	2021 年 3 月 12 日	初版作成

目次

はじめに	1
本書について	1
本書の読者	1
第 1 章 ワークスペース復旧ツールの利用方法	2
前提条件	2
ワークスペース復旧ツールをご利用いただくための前提条件	2
ワークスペース復旧ツールの利用手順	3
ワークスペースの復旧	3

はじめに

本書について

本書は、Passage Drive ワークスペース復旧ツール(以降、ワークスペース復旧ツールと記載します。)の使用方法を説明しています。ワークスペース復旧ツールは、Passage Drive をマルチワークスペースモードで利用している環境において、ワークスペース情報ファイルが破損したことが原因でワンタイムワークスペースに移行してしまう環境を復旧するためのツールです。

- Flex Work Place Passage Drive v.1.4.3
- Flex Work Place Passage Drive ワークスペース復旧ツール

Flex Work Place は、横河レンタ・リース株式会社が提供する全く新しいデジタルワークスペースを実現するソフトウェア製品の総称で、Passage Drive は PC デバイスからユーザーデータを分離するデータレス PC™を実現します。

本書の読者

本書は、Passage Drive クライアントを利用する PC ユーザーと、保守/管理を行うシステム管理者の方を対象に書かれています。

また、本書を読むためには、以下の知識が必要です。

- Windows OS(サーバーOS、クライアント OS)に関する基礎知識
- Microsoft 365 と OneDrive に関する基礎知識
- Active Directory と Windows ファイルサーバーに関する基礎知識(対象：システム管理者)

管理サーバーを構築しない場合は、Active Directory と Windows ファイルサーバーに関する基礎知識は、必ずしも必要ではありません。

また管理サーバーは、Passage Drive クライアントを数台導入した後、必要が生じたときに構築することも可能です。このときには Active Directory と Windows ファイルサーバーに関する基礎知識が必要になります。

第 1 章 ワークスペース復旧ツールの利用方法

前提条件

この節では、ワークスペース復旧ツールをご利用いただくための前提条件を記載しています。

ワークスペース復旧ツールをご利用いただくための前提条件

分類	前提条件
ツール実行環境	<p>ワークスペース復旧ツールは、Passage Drive クライアントを利用する PC ユーザーで実行する必要があります。</p> <p>Windows の一般ユーザー権限で実行可能ですので、管理者権限は必要ありません。</p>
Passage Drive 環境	<p>ワークスペース復旧ツールが対象とする Passage Drive 環境は、以下の条件を満たす必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「同期対象ストレージ」が「OneDrive」であること。 2 「ワークスペースの指定方法」が「マルチモード」であること。
OneDrive 環境	<p>ワークスペース復旧ツールは、Passage Drive クライアントと OneDrive が正常に同期できる環境で実行することを前提としています。</p> <p>ワークスペース復旧ツールは、OneDrive 上に PassageDrive フォルダー、および、ワークスペースとして利用しているフォルダーが既に存在していることを前提としています。</p>
ワークスペース復旧の制限	<p>ワークスペースとして指定されたフォルダーのサブフォルダーとしてワークスペースとして利用するために必要なフォルダーが存在しない場合、ワークスペース復旧時に自動作成します。</p> <p>[ワークスペースとして利用するために必要なフォルダー] Downloads、SavedGames、Contacts、Desktop、Favorites、Music、Pictures、Videos、Documents</p> <p>同じ名前のワークスペースを複数作成することはできません。</p> <p>1 つのフォルダーを複数のワークスペースとして利用することはできません。</p>

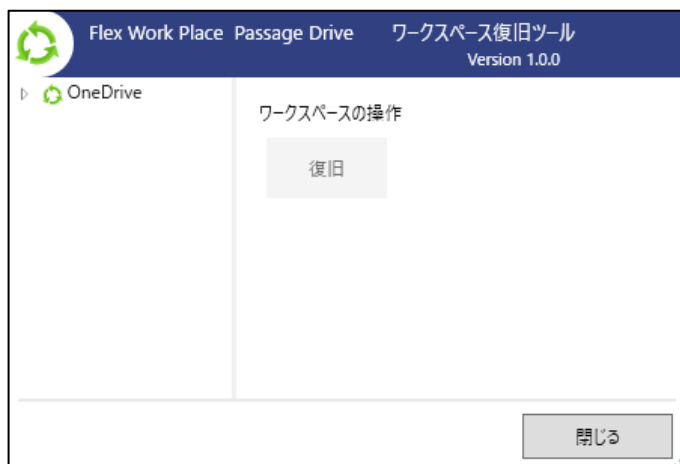
ワークスペース復旧ツールの利用手順

この節では、ワークスペース復旧ツールをご利用いただく手順を記載しています。

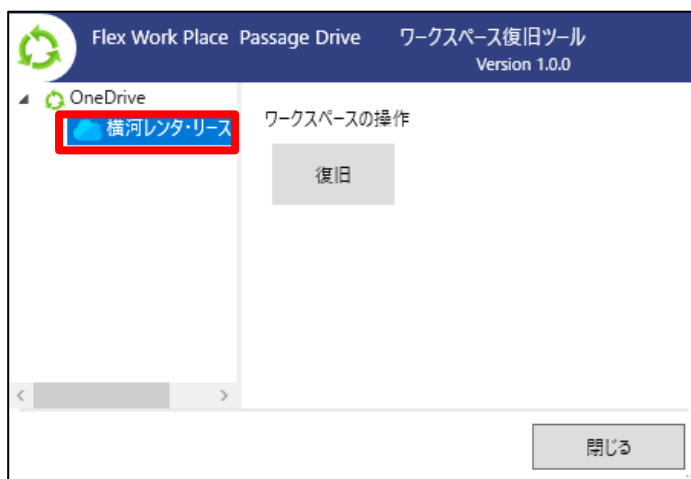
ワークスペースの復旧

(1) ワークスペース復旧ツールを実行します。

次の画面が表示されます。



(2) ワークスペースが存在する OneDrive アカウントをクリックします。



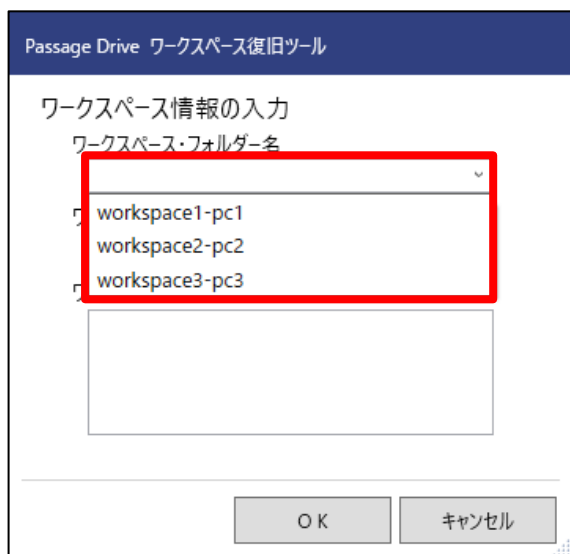
 OneDrive 配下に何も表示されない場合、OneDrive との同期状態が正常であることをご確認ください。

(3) 「復旧」 ボタンを押下し、「ワークスペース情報の入力」画面を表示します。



(4) ワークスペースとして利用するフォルダーを選択します。

ワークスペースの選択肢として、PassageDrive 直下のフォルダーが表示されます。
選択肢の中から、ワークスペースとして利用するフォルダーを選択してください。



(5) ワークスペース情報を入力します。

Passage Drive ワークスペース復旧ツール

ワークスペース情報の入力

ワークスペース・フォルダー名
workspace1-pc1

ワークスペース名 (50文字以内)
workspace1

ワークスペースの説明 (500文字以内)

OK キャンセル

入力項目

項目	前提条件
ワークスペース名	必須入力項目です。 「ワークスペース・フォルダー名」を選択すると、ワークスペース名の候補として、ハイフン(-)より前の文字列を自動入力します。 自動入力されたワークスペース名を変更することは可能です。 同じワークスペース名を持つワークスペースを複数作成することはできません。 「ワークスペース名」の文字数制限は、50 文字です。
ワークスペースの説明	任意の入力項目です。 複数のワークスペースを使い分ける場合に、ワークスペースの用途を記録するためのメモ欄としてご利用ください。 「ワークスペースの説明」の文字数制限は、500 文字です。

(6) 「OK」ボタンを押下すると、ワークスペースを復旧します。

ワークスペースの復旧に成功した場合、「ワークスペースが復旧されました。」と表示されます。

